

2011
April
vol. 114

YAMAGUCHI Nursing Association

(春号)

山口県看護協会報

きらめき
Twinkle



CONTENTS

医療功労賞を受賞して	2
母子保健奨励賞を受賞して	2
東日本大震災義援金	3
サポート一育成研修会	3
教育委員会	4
アンケートの声・声	4
大盛況!第10回山口県看護研究学会	5
ひたむきな保健師〈vol.4〉	6
助産師だより～幸の鳥～〈vol.1〉	7
平成22年度の看護師職能委員会	8
看護副院長・認定看護管理者等交流会	8
理事会だより	9
下関支部活動	9
支部交流会について	10.11
ナースセンターだより	12.13
訪問看護師育成研修	14
山口県警本部よりお知らせ	14
社会経済福祉委員会報告	15
医療安全情報<NO.11>	16
リレー随筆	17
表紙の写真によせて	17
ペット自慢	17
会員数、編集後記	17

阿知須ひなもんまつり



阿知須共立病院

医療功労賞(都道府県表彰)を受賞して

この度、栄誉ある第39回医療功労賞を受賞いたしました。この賞は困難な環境のもとで長年にわたり医療活動に従事したものに授与されるものです。私は看護師になって40年になります。病院での救急医療、医療機関及び訪問看護ステーションでの訪問看護により受賞となりました。

訪問看護業務に従事して15年になりますが、現在勤務している訪問看護ステーションは新規事業で立ち上げ、ゼロからのスタートでした。訪問看護ステーションが軌道に乗らず苦戦した時期もあります。スタッフと共に利用者サイドに立った看護を実践し、少ない人数のスタッフで24時間緊急時連絡体制をとり、ご利用者が家で安心して療養できる環境づくりを心がけて参りました。

私は自立した看護のできる訪問看護が大好きです。このような私が医療功労賞を頂いたことは望外の幸せであり光榮の極みであります。しかし、これは決して私一人でできることではありません。長年にわたるスタッフや当組織の力添えがあり、スタッフと共に受賞したものと考えております。また、成熟した訪問看護ステーションづくりのためにご尽力頂いた山口県看護協会、山口県訪問看護ステーション協議会などの大きなバックアップの賜だと感謝いたします。

今後はこの受賞を心の支えとして表彰の栄誉に恥じぬよう、地域での更多的な訪問看護活動を実践して行きたいと考えます。



下関市豊浦地域ケアセンター
訪問看護ステーション

戸嶋 涼子

(第32回)母子保健奨励賞並びにNHK賞を受賞して

このたびは、栄誉ある賞を賜り、東宮御所へ参内し、皇太子殿下と接見の栄を賜りましたことは、身に余る光榮に存じます。これもひとえに関係者の皆様の温かいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

私は、昭和57年光市に入職以来、母子保健活動に携わり、母乳育児推進を母子保健推進員の育成支援を強化して昭和60年代には乳児家庭全戸訪問に取組みました。その中で、母乳育児がうまくいくためには育児環境が重要であること、また母乳が飲ませられない方への支援について考えさせられ、平成5年からは、母乳育児を基盤とした「おっぱい育児（抱きしめ見つめあって語りかけて豊かな心で行うふれあいの子育て）」へ変換していました。

現在、問題を抱える子どもの多くや不安を抱える母親など、総体的に自己肯定的が高いと言われています。皆が愛情豊かに「おっぱい育児」で育ったなら、虐待や思春期の問題等、減ってくるように思います。

これからも「おっぱい育児」をキーワードに、きめ細かで地道な母子保健活動、子育て支援を行い、母子をとりまく関係機関と「顔の見える連携」を図りながら地域での輪を広げ、子どもたちの笑顔、キラキラした瞳を励みに住民に寄り添いながら活動を続けてまいりたいと思います。



光市子ども家庭課
子育て支援係長
柏木 裕美

平成23年(2011年)東日本大震災 被災者支援のための義援金について(お願い)

この度3月11日(金)午後2時46分ごろ、マグニチュード9.0を記録する地震が東北地方太平洋沖で発生し、停電や火災、津波などの被害が拡大しました。これらの災害の巻き添えとなって亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。さらに、家屋の倒壊等の災害に遭われた方々、停電・断水等で不自由な暮らしを余儀なくされている方々に、心よりお見舞いを申し上げます。

歴史的にもない最大の災害が起り、被災された方は大変な毎日を送っておられますことと思います。復興支援に役立てていただくために山口県看護協会では、義援金の募集を行っております。是非趣旨にご賛同いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。看護協会内にも募金箱を設置しておりますので、よろしくお願いします。

なお、いただいた義援金は、日本看護協会を経由し、被災者への支援、災害支援ナースの活動、物資購入、調整活動、日本赤十字社などへの寄付に使われます。(山口銀行の本会振込用紙をお使いください。振込手数料は本会で負担いたします。振込用紙が必要な場合はご連絡ください。)

(管理係 早川)

～魅力ある職場づくりを目指して～ センター育成研修会(第2回)開催について

看護職が働きづけながら幸せな人生を歩むために、職場や自分自身に乗り越えていかなくてはならない問題が多くあります。魅力ある職場づくりのキーパーソンとして、また個人的なメンタルヘルス等の相談支援者としての活躍を期待し、ひいては看護専門職業人として納得できるよいケアの提供につなげていくため、それらを支援するセンターを育成しました。

7/8・8/12・9/9・10/14・11/11・12/9 H.23.3/10の6回開催し、修了者へは修了証並びにワッペンを配布し、職場で着けて活動していただくようにお願いしました。なお、第1回受講者にもワッペンを配布しました。今回の感想を受講生に聞かせてもらいました。

(管理係 早川)

山口県済生会山口総合病院 看護部主任 湯面 真吾

現在、看護職の置かれている職場環境や労働条件は大変厳しく、良質な看護を提供するためには私たち看護職も健全であることが求められています。しかしながら、看護職が悩みなどを相談できる場や精神的な支援を受けることのできる場が十分であるとは言いがたい状況です。

そのような現状を改善すべく「魅力ある職場づくりめざして」ということを目標に、私は平成22年7月から12月まで、全6回に亘ってセンター育成研修会を受講いたしました。正直なところ、受講前はセンターの必要性や役割など分からぬことも多いままにセンター育成研修会に臨みましたが、看護職の悩みや苦しみを仲間同士で分かち合いケアしていくことの重要性について学びました。研修会は主にグループワークを中心にし、実践計画案を作成しました。私たちのグループでは人との交流ができる職場ということをテーマに

話し合い、私は男性看護師に対するメンタルサポートとして、男性看護師の相談支援者となれるよう実践計画を立案しました。

活動としてはまだ十分とは言えませんが、今後活躍できるよう努力してまいりたいと思います。また、私達のようなセンターが今後も増えていくことを期待しています。



ワッペン



教育委員会



教育委員会のメンバー

平成22年度教育委員会は、落合教子理事以下、保健師・助産師・看護師・大学教員など12名のメンバーで活動しました。

教育研修会を企画・運営し、研修後にお願いしているアンケート等も参考にさせていただきながら、会員の皆さまのニーズに応じた有意義な内容を提供すべく、山口県の看護継続教育の充実、推進のために、日々努力しております。

委員会では、23年度の研修計画が出来上がったところです。研修のひとつひとつが会員の皆さまの自己研鑽の場として有意義に活用されますよう、委員全員で願っております。

(教育委員長 河村和子)



～アンケートの声・声～



研修会や講習会のアンケートから、時折、その意味を考えさせられる時があります。

アンケートは、より良い研修にする為の企画側の評価方法の一つとして実施しているものです。つまり、企画側と受講者側が同じ方向へ向かっていけるようにするために、そのズレを指摘して戴きたいと思うのですが、実際に以前にも書きましたが、暑いだ、寒いだはいつものことで、弁当についてや長時間座っていると腰が痛いだ、褥創ができるとか言ったものまで様々です。無論少数ですが、皆、目的があって、受講されていることと思います。しかし、それぞれ、日々の職務姿勢が反映されているのではないかでしょうか。常に各々が専門職としてどうか、社会人としてどうかというところに立ち返る必要があるように思いますが…。

昨年の認定看護管理者教育のファーストレベルの受講生のアンケートには、初めてそのような内容がなくなりました。従来は僅かですが、協会がもっとこうすべきだというものや、通常

の研修と同様の声が書かれていましたが、初めて全員が研修内容について自己の振り返りをしているものでした。個々の持っているハートや感性もありますが、研修を通じて、受講生間で育まれたものの成果も大きいように感じられます。このような管理者が多く育っていくことで、少しづつ変化するのではないかと期待しています。

最近のアンケートの中からひとつご紹介いたしますので、各施設で、また、考える材料にして頂ければと思います。

「きらめきを楽しみに読ませて頂いています。看護協会の運営も大変なんだなとつくづく思います。意外に研修中の温度について変なこと言う人がいるんだなと苦笑しています。いつも思うんですが、椅子に荷物置いてる人多いですよね。のっべきならない用事で遅れて席がなくて困ってても、見て見ぬふり、譲り合いの気持ちがないことに淋しく感じます」

(教育研修係 安富)

大盛況！ 第10回山口県看護研究学会



平成22年度の山口県看護研究学会は、3月5日に387名の参加者を得て、大盛況のうちに終了致しました。昭和56年からの山口県看護研究発表会が学会形式となって10回目を迎えました。

今回は「ココロの元気でもっと輝く看護の未来」というテーマを掲げ、疲弊しきった現状の中で、看護職が生き生きとやりがいを持って働くことの根源に視点を当てました。

多くの次世代を担う若手の研究グループの台頭が目立ち、特に示説は参加者が会場の外に溢れ、発表者の顔も見えにくい中で、懸命に発表される姿が印象的でした。彼等が日々の業務の中で感じた不都合や不便さを放置せず、解決するために取組んだことは看護職に必要な感性を有しており、今後大事に育てていって欲しいと願っています。

今回の発表23演題の中で、学会奨励賞は、徳山医師会病院の「脊椎麻酔導入時保温性のある抱き枕が与えるリラクゼーション効果」が受賞となりました。この研究は患者にとっても看護者にとっても重要であり、看護を効率的に行う観点でも有効性が高いと学会長は評価されています。

東京医科歯科大学の井上智子先生は、臨床看護研究のタイプ（発達段階）について、日常の問題解決からスタディの段階、リサーチの段階に至るには、看護についての深い洞察の下、看護現象の事実を明らかにして、理論や知識体系の構築に寄与することが求められていると話しておられました。



《示説会場》

当会の学会は、23年度より日本看護協会の様式に沿って抄録・論文集と大きく変わります。

少しでも、問題解決からスタディ、リサーチへと発達段階を経られるよう学会が共有の場になることを願っています。

今回の10周年記念特別講演は、人材活性プロデューサーの大谷由里子先生に「大谷流『ココロの元気』のつくり方」というテーマで、大変エネルギーッシュな講演をして戴きました。人材育成の中で、気持良く人が動く為に、人を観察することの重要性、自分の心が元気でないと良い仕事はできないので、落ち込んだ時の対処が大事であること等をご自身の経験を踏まえ、笑いの渦に巻き込んで話されました。特に印象的だったのは、感情は変えられないが、行動は変えることが出来るので、行動を変えると感情が変わることがあると話されたことです。

人間が一番辛いときは、前が見えないときであると話された言葉には、先生の阪神淡路大震災の体験が滲み出ており、我々が自分の命の使い方（使命）について考えるきっかけとなりました。多くの参加者からも、元気を頂き、明日からまた、仕事を続けていけます、という声が聞かれました。

全体の参加状況を見ると、施設によって偏りが見られ、看護部長が毎年参加される施設もあり、管理者の姿勢が演題の応募や参加に大きく影響しています。一概に施設の規模だけで判断することはできませんが、各支部を中心となる施設には、今後、是非牽引していく役割を担っていって戴きたいと思います。（教育研修係 安富）



《会長あいさつ》



《元気な大谷先生》



保健師職能委員会では、保健師から保健師へ、思いを受け継ぐネットワークづくりに取り組んでおり、身近で地道に保健活動を実践している保健師にスポットライトをあてこのコーナーで紹介しています！（山口県看護協会ホームページで「ひたむきな保健師さん」を募集しています）第4回は、人が大好き！明るく保健師活動に取り組まれている川口保健師さんを紹介します。

人に会って人と接することで 学べることがたくさんある！ 周防大島町 健康福祉部 健康増進課 班長 川口 雅枝さん



右から2番目が川口さんです。課長と主任保健師とタッグを組んで頑張っています。

川口さんのプロフィール

- 血液型：B型
- 家族構成：子供3人独立し、夫と2人暮らし
- ストレス解消法：自然が好き！落ち込んだときは阿蘇へ行き、広大な景色を見て元気をもらいました。お花を植えたり、園芸も好きです。
- 仕事：周防大島町保健師のまとめ役

推薦の言葉

「公衆衛生情報」に紹介された川口さんとご家族はさわやか！でした。いつも地域（町）をみて戦略を練つておられます。熱く、確かな川口さん流戦略に触れたびに、私は魅せられます。

保健師になって印象に残ったことや、 良かったと思ったことは？

- 歩いていて「川口保健師さん！」と声をかけてもらえた
り、訪問をきっかけにその人が健康について考え、その
人なりに良い方向に向いてくれると嬉しい！
昔ながらの保健師です。やっぱり訪問してこそ見えるも
のがあります。これこそ保健師の原点だと思います。
- 知っているようで知らなかつた地域！保健師としての転機
事業をこなすだけで精一杯になっていた時、全戸訪問を
実施し、いろんな人と出会うことができました。訪問を
通して、生活の場で人と人の関わりの中で、問題解決の
糸口を見つけることができるし、地域がみえるようにな
ることを改めて実感しました。また、それを報告するこ
とで、きちんと活動を評価してくれる人が身近にいたこ
とで力をもらいました。

保健師活動で大切にしていることって？

- やっぱり人が好き！
人と接すると、その人から教えてもらうことって多いと
思いませんか？
昔の生活があって今の生活があると思っているので、お
年寄りと話す事が大好きです。

後輩たちへのメッセージ

- 人との出会いを大事にしてほしい。
住民は勿論ですが、関係機関などとのつながりも大事。
困ったとき頼れる人がいて、持ちつ持たれつの関係を作
っておくと、人間関係も広がります。
- 失敗を恐れない！
恐れいたら、成功しないよ！経験することが自分の力
になります。
- さん！！って名前で呼んでもらえるような保健師さ
んになってください！

★周防大島町のいいところ

なんといっても海がきれい！海で季節を感じられます。
きらきらしている海をみると、何かいいことあるかもと思
えてきます。みかんもおいしい！



職場の仲間からひとこと

- ・相談しやすいです。忙しくてもきちんと話を聞いてくれます。
- ・親身になって助言をくれます。
- ・元気で頼りがいのある上司です。
- ・訪問から帰ってきて報告しやすいし、ちゃんと聞いてくれて的確なアドバイスをくれます。
- ・情報共有しあえる関係です。
- ・“めぐりあえてよかった”と思える人柄の先輩です。

まとめ役として先頭にたって保健師さんを引っ張っている川口さん！
こんな風に言ってもらえる保健師になりたいですね★

インタビューを終えて（インタビュアーの感想）

終始にこやかに、これまでの道のりを淡々と語られましたが、その土地に暮らしている一人ひとりの生活に目を向けて寄り添って行きたいという情熱が強く伝わってきました。

働く場であるたぢばなケアプラザの近くの海を眺めると、いつも季節の移ろいを感じるようですが、その素敵な感性が仕事の中でも大いに生かされているのではないかと思いました。気負わず自然体でありながら存在感のとても大きな川口さんでした。担当は、岡崎（保健師職能委員）と吉本（柳井支部保健師職能委員）でした。



助産師だより～幸の鳥～ vol.1

助産師職能委員会では、助産師の活動を皆様に知っていただくため、今回より情報だよりを年2回掲載することになりました。

県内の院内助産システムを導入している施設

助産外来	院内助産
徳山中央病院	徳山中央病院
山口県立総合医療センター	山口県立総合医療センター
山口赤十字病院	山口赤十字病院
山口大学医学部附属病院	
山口労災病院	
山陽小野田市民病院	

平成23年2月現在

支部活動報告

下関支部助産師職能委員長
又賀 明子

県内でも人数が多い49名の助産師で構成されています。平成23年5月24日(土)にシーモールで「看護の日」・「国際助産師の日」のイベントを行います。子供たちの足型や手型を取ったり、身長・体重測定を行い地域との交流をしています。また、年1回、看護師・保健師と合同で研修会を行っています。

くきらっと助産師

山下ウイメンズクリニック
高杉 敏子

病院の中から一歩外に出て始めた活動、思春期の性教育に関わり始めて8年目を迎えました。

「性は生である」ということを伝えたい、助産師だからできる性教育をしたい、そんな思いを多くの学校関係者の方たちから理解と協力を得て、平成22年度は、100回の授業・講演を実施させてもらいました。



学校から依頼を受けるとき、子どもたちの現実から目をそらさず、子どもたちと向かい合うことが求められます。そして、自分探しをしている思春期の子どもたちは自分たちが最良の行動を決定することに役立つ情報・知識を求めています。それに応えていきたいと思っています。思春期保健指導を助産師として取り組むやりがいを感じさせてもらっています。

「安全な分娩をめざして」

山口県立総合医療センター
総合周産期母子医療センター
院内助産院Sun主任 吉村栄子

産婦人科医師の過密労働の軽減と、助産師が主体的な活動をすることで妊娠褥婦のリスクの低減を図り、本人や家族が満足できるお産を提供することを目指して平成21年4月1日に院内助産院Sunが開院しました。

助産外来の対象者は日本助産師会助産所業務ガイドラインを参考して、医師と助産師がローリスクと判断した妊婦と医師と助産師とで共同管理をしていく妊婦です。妊婦健診は妊娠26週以降から助産院で担当しますが、妊娠経過が順調な方でも妊娠32週と36週は医師の健診を受けてもらい、医師と助産師で連携をとっています。また妊婦健診後に医師と助産師でカンファレンスを行い院内助産システムの妊婦の妊娠管理方針についての検討をしています。

院内助産院での分娩数は平成21年が21名、22年が42名でした。フリースタイルで家族に囲まれてのアットホームな分娩でした。医療介入で多かったのが弛緩出血の対応で9件でした。分娩の振り返りは全例

行い、基準の修正・追加をして異常時に適切な対応ができるようにしていきました。

安全な分娩には、助産師の自律が不可欠です。分娩経過が通常と異なる場合は基準・理念に立ち返り予測性をもった判断で、早めに医師・周産期センターと連携をとることが大切です。



平成22年度の看護師職能委員会

私達職能委員会の活動を紹介させていただきます。委員の構成は、看護師11人で毎月1回の委員会を開催、よりよい看護が提供できるよう、抱えている問題を明らかにし、検討・改善を図ることを目的として活動をしています。

日本看護協会ニュースでも紹介されたように、平成22年厚生労働省のチーム医療推進のための看護業務検討WGにおいて、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究」が実施されました。この結果をもとに、特定の医行為の範囲や特定看護師（仮称）の要件、看護師の実施可能な医行為の範囲等が議論されています。看護師の看護業務の範囲については保助看法に謳われていますが、看護師独自の判断で行える業務についても、医師の指示を得て行ったり、医師業務を医師指示のもと看護師が実施したりしているのが現状です。

この事を踏まえ、山口県下においても、看護師が担っている業務の現状を明らかにするために実態を把握し、業務改善を図るために100施設の看護職を対象（50床以上で同施設において役職を除く）にアンケート調査を実施しました。只今、集計・分析中ですが、今後は、アンケート調査結果を「きらめき」の紙面にてご報告いたしますので参考にされ、業務改善に繋げていただければと思います。

尚、山口県看護協会のホームページ上に看護師職能委員会の紹介をしていますので、是非ご覧になって下さい。



看護師職能委員会のメンバー

H22年度看護職副院長・認定看護管理者・専門看護師・認定看護師交流会開催しました

今年も3月12日（土）に看護協会で交流会を開催しました。今年は部門ごとに会場を変えてそれぞれ交流会を開催しました。テーマは活動にあたって現状と問題点（認定看護管理者は地域で活動していくために）と今後の交流会のあり方について話し合ってもらいました。活動にあたっての現状と問題点は闇達に意見交換を行い交流が図れました。

交流会の今後のあり方は、看護職副院長の部門では取り組みの情報交換を行うために有効であるので交流会は継続する。開始日は12月中旬の土曜日が希望と決まりました。

認定看護管理者の部門では、メンバーの中から会長、副会長を選出して自主で開催することに決りました。

専門看護師・認定看護師の部門では開催は協会で、内容の企画は領域別の代表者が集まって行うことになります

した。代表者選出について、交流会終了後に、地区別の方がみんなの意見も集約しやすく人数の少ない領域もカバーできるという意見をもらいましたので、再度皆さんの意見を聞き進めて行きたいと考えています。どの分野も自主的な意見が出て、昨年より一歩進んだ交流会となりました。

午後からは厚生労働省中国四国厚生局山口事務所の中原力様と青山覚様を迎えて「看護配置と施設基準」について講演をしていただきました。入院基本料における看護配置の計算方法や按分者の考え方など看護職の立場にたった暖かいアドバイスを沢山いただきました。

交流会は参加数が多いことが有効です。来年度も沢山のご参加をお待ちしています。

（事業係 佐藤）

理 事 会 だ よ り

平成22年度常務理事会

開催日(第5回):平成23年 1月 7日(金)
 (第6回):平成23年 1月18日(火)
 (第7回):平成23年 2月16日(水)
 (第8回):平成23年 3月 3日(木)
 (第9回):平成23年 3月19日(土)

《協議事項》

- 公益法人化に伴う課題検討について
- 《資金管理運用検討委員会》
- 平成23年度「資金運用」について
- 《その他》
- 日本の医療を守るための山口県民集会の開催について

平成22年度理事会

開催日(第7回):平成23年 1月15日(土)
 (第8回):平成23年 2月26日(土)
 (第9回):平成23年 3月19日(土)

《議題》

- 議案第10号 職員の採用について
- 議案第11号 平成22年度一般会計補正予算(第2号)
- 議案第12号 平成22年度訪問看護ステーション事業会計
補正予算

《協議事項》

- 平成23年度教育計画(案)について
- 山口県看護協会名譽会員の推薦について
- 公益法人化に向けての課題検討事項について
- 理事会・支部長合同会議について
- 平成23年度重点事業について
- 新定款(案)について
- 平成23年度事業計画(案)について

《報告事項》

- 日本看護協会「第2回審議員会及び第3回法人会員会」について
- 平成22年度第2回都道府県職能委員長会報告
- 各委員会の報告について
- 《その他》
- 災害支援ナースの派遣について

平成22年度理事会・支部長合同会議

開催日(第2回):平成23年 1月15日(土)
 (第3回):平成23年 2月26日(土)

《議題》

- 公益法人化に伴う支部体制について
- 平成23年度重点目標について
- ナースセンター事業について

下関支部活動報告 『連携・協働』 下関支部 支部長 古本たつ子

下
支
関
部

医療の専門分化、制度の改革等により、地域における医療連携は不可欠なものとなっています。下関支部では平成22年11月27日(土)に、安心して療養できる地域医療環境への支援として、昨年度初めて行政・医療・介護・福祉関係者の共同による「下関市医療・介護ネットワーク研修会」を開催いたしました。268名の参加者で、「退院調整」というテーマに焦点を当て模擬事例を展開しました。地域で一体的に支援していくには、まず住民に関わる全ての職業が本当の意味でお互いを知り、役割を理解した上でなければ難しいということを、この研修を通して気付くことができました。そのためには、「顔の見えるつながり」コミュニティを持つことが第一歩と実感いたしました。参加者の90%の人が満足され、職種間の意見交換がとても有意義であった、今後も合同研修を望むという声が聞かれました。

また、会員間の連携を目的に、例年各職能別に行って交流会を、今回は「三職能合同交流会」として、平成23年2月11日(土)に実施しました。保健師は在宅で、助産師は妊娠婦さんに、看護師は患者さんへそれぞれのケアへ活用できるものとして、「現場に活かせるリラクゼーション“フットケア”」というテーマを選びました。

タメイシ
爲石眞理子先生を講師に迎え、セラピスト10名の協力を得て、84名の参加者全員が実技を体験できました。外は雪でしたが、会場内はアロマの香りがたちこめ、音楽とマッサージに癒され、温かい気持ちで明日からの元気をいただきました。最後にリンパ浮腫の患者さんが来られ、体験談をお話していただきました。多くの参加者が、実際のリンパ浮腫を観察したことが無く、さらに良い学びの機会となったと同時に、患者さんへの感謝の気持ちで研修会を終えました。



フットケアの研修風景

● ● ● 支部交流会について ● ● ●

各支部との交流会を終えて

山口県看護協会 兼安 久恵

会長の任期が今年度で終わりを迎えます。私にとって看護職の幸せを願って活動した日々は、光陰矢のごとき時間の経過に思われますが幸せな時間でした。私は、身近な人々は言うまでもなく会員の皆様に支えられている思いは日々に感じてきました。会員の皆様に私なりに何か恩返しをしたいと考えたとき、先ず直接お会いしてお礼を言いたい、そして今、私にできることで報いたいという思いが、支部交流会のきっかけとなりました。

22年7月から23年2月の間で11支部をまわり、公益法人移行への説明のチャンスともさせていただきましたが、これから看護を背負う看護職の後輩たちへいろいろな形で私の思いを伝える機会をいただいたことをありがたく思っています。11支部それぞれの特色があり、良い面を学びあいながら知恵と力を結集して自分たちの職能団体として山口県看護協会を育てていってほしいと心から願っています。

平成22年7月から始まった支部交流会も平成23年2月で無事終了しました。

会長が講演等され、会員支援センターの高野先生、阿部先生が会員支援センターの説明をされました。

協会のインフォメーションを時間があれば早川がさせていただきました。

各支部の皆様には大変お世話になりました。支部によって雰囲気も変わり、毎回新鮮でした。

今回の支部交流会で各支部の状況も少しわかり、公益法人化に向かっていく状況で大変よかったです。

各支部長に支部交流会についての感想をいただきました。

(管理係 早川)

支部名	感 想
岩国	<ul style="list-style-type: none"> ・会長の人生を知る機会を得て様々なことを感じた。その会長の下で働くことができる喜びを改めて感じた。 ・これまでに会長は遠い存在だったが、身近に感じた。 ・いつもマイナス思考であるため、積極的にプラス思考へという言動に感銘を受けた。 ・仕事に対する取り組み方を考えさせられるよい機会となった。 ・協会について知るきっかけとなった。楽しみながら仕事をすることが大事ということが分かった。今後実践していきたい。 ・自分の上司を普段見えていて、いつも楽しそうに仕事しているのを不思議に感じていたが、今回の講義を受け、理解できるようになった。 ・次の世代へのバトンタッチが重要であることに気付いた。 ・公益法人と一般法人の区別等、説明は大変分かりやすかった。 ・協会の意義について、これまで個人レベルではなかなか伝えられなかつたので、本日の講義を聞くことができてよかったです。 ・会員支援センターの存在をはじめて知った。今後活用していきたい。
柳井	<p>役員会開催にあわせて実施し、参加者は23名でした。</p> <p>会長から公益法人に移行した後の支部体制についていろいろお聞きしました。</p> <p>9月の段階では県協会としての具体的な方針を示されることとはなかったので、少々残念でした。</p> <p>今回はじめて会長と支部との交流会という機会がもてたことは県協会の活動について周知できるよい場となったと思います。</p> 
周南	<p>周南支部では、平成22年11月13日土曜日に開催いたしました。参加者数は61名ありました。このときにアンケートを配布いたしましたが、結果は、12名大変よかったです。37名よかったですとの回答が得られました。</p> <p>自由意見として、「もっと詳しく聞きたかった」が多く記入されていました。</p> <p>役員ならびに参加者からは、教育研修だけでなく看護協会が今後目指す方向を身边に捉え、考える機会になったように思います。</p> <p>今後も継続して「出前講座」が行われることは、山口県看護協会を感じられ、看護職員としての意識高揚に繋がるように感じましたとの声を聞く機会となりました。</p>
防府	<p>「新公益法人の移行でなにがわかるか?」というテーマで講演をしていただきました。</p> <p>時間をかけて丁寧に講演してくださったので、公益法人へ移行の理解はわかりかけてきました。</p> <p>時間が少なかったので、会長の看護に対するすばらしい思いをほんの少ししか聞くことができなくて、とても残念に思いました。</p> <p>また機会がありましたら是非看護観について語ってほしいと思いました。</p>

支部名	感 想
山口	<p>山口支部では平成22年10月23日（土）に「これからの看護に強化すべきこと」と題して会長を囲んで交流会を行いました。変革が始まった看護界のなかでサービス業としての質への期待が高まってきた。新たな看護のあり方検討委員会の報告では看護業務の考え方を「看護師等は、利用者のQOL向上のために療養生活支援の専門家として、適切な看護判断を行い適切な看護技術を提供する」としている。その為には、自分自身という最も大切な資源を大切にすること、また、自らに授かった肉体・知性・精神・情緒・社会性をリフレッシュし、豊かにする努力を惜しまないようにとの講演でした。私たち看護職は、何時でも、どこでも、誰にでも最善のケアが提供できるよう努力しなければならないと再認識をした交流会でした。県協会が遠い存在になっていた私たちにこのような交流会の場を与えてくださった県協会の皆様に感謝いたします。公益法人に移行後はもっと身近な存在になることを期待します。</p>
宇部	<p>山口大学医学部附属病院と宇部支部とが協賛で開催し、167名の会員・非会員が集いました。講演テーマは「組織人としての看護サービス」でした。多くの会員が直接会長のお話を聞くことができ、組織と会員の親近感を感じることができました。</p> <p>公益法人化という大きな課題を抱えて不安が沢山ありました。会長の心温まるお話を聴いて一同安堵してしまったのか、せっかくの機会に質問が多くなかったことは残念でした。今後も今回の交流会が充実すれば、支部という密着型の組織が維持され会員のつながりが持てるように思い、支部交流会の継続を希望します。</p>
小野田	<p>会長を囲んでの支部交流会は、初めての試みであり、会長を身近に感じられる良い機会になりました。できるだけ多くの会員の参加を願い、会場を楠総合センターで開催しましたが、広い会場はステージと会員の席が離れていて距離感が生じてしまったのが残念でした。</p> <p>「公益法人化について」と「これからの看護職に期待すること」をテーマにご講演をいただきましたが、非会員の方にも大変好評で、入会の契機に繋がればと思います。1時間半の設定は終盤駆け足になってしまい、2題のテーマでは時間不足で、会長のご意向も伺っておくべきだったと反省しています。</p> <p>講演終了後の役員との懇談会では、直接、質問や意見を交え助言を得たことで、理事会の意志統一ができ、有意義な交流会になりました。</p>
長門	<p>22年7月29日（木曜日）に、これからの看護～看護が社会に果たす役割～というテーマで、兼安久惠山口県協会会長に講演して頂きました。会員だけでなく地域の看護職約100名が研修会に参加しました。社会情勢から、看護職が果たす役割について話して頂きました。このお話の中で、一番印象に残った言葉は「楽しさ創造力」です。自らの意思で仕事に取り組むと楽しくなる。「目標」は仕事を楽しむために不可欠な要素。楽しく仕事をしていますかと語りかけられました。私自身、楽しさを創造する条件と強みづくりについて話を聞いて、自分自身から前に進む勇気をもらったように思います。講演後の情報交換会では、公益について質問があり活発な交流会になりました。研修会終了後に、たくさんの若い参加者からよい研修会だった。楽しく仕事をしたいという声を頂きました。</p>
萩	<p>支部交流会は「会長講演会と意見交換会」ということで開催していただきました。県協会からは会長始め3名の方に来ていただきて、有意義な研修になりました。</p> <p>公益法人移行問題については、支部関係の具体的な事がまだ決まっていない段階で、総論的な話のため支部会員にはいまひとつピンとこない感は受けました。</p> <p>支部として特に会長にお願いしたのが、今看護師の置かれている状況と課題についての講演でした。自分たちが「忙しい、忙しい」と働いて余裕のない業務をこなしている現状では、「のこぎりの刃」が磨り減った状態です。ちょっと休んで刃を研いだら、今度はもっとすっきり効率よく物事が進んでいくんだという話ををしていただきました。みなさん、感動されて、自分の仕事を再度、振り返り、どうしたら、患者・住民の方々の安心・安全な看護が出来るかと考えるきっかけになったかと思います。</p> <p>本当に、県看護協会の皆様、ありがとうございました。</p>
豊浦	<p>豊浦支部は山口県の西端に位置し、11支部の中では会員数228名と最も小さい支部です。</p> <p>今回、先生方と直接看護の抱える現状について現場の声を聞いていただき、よい意見交換ができたと思います。会員の中には、「協会との連携が取れたような気がした。」という感想も聞かれました。また、会長には「看護と倫理」というテーマで講演をいただき、看護の原点に立ち返らなければという思いを新たにした一日でした。</p>
下関	<p>平成23年1月28日に、「公益法人で看護協会の何が変わるのか?」というテーマで、兼安会長にお話していただきました。今回、お話の内容から施設代表者に多く集まつていただき（44名の参加）、以下のような感想が寄せられました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公益法人移行の目的、メリットなどよく理解できました。 ・会長から協会の活動理念、方針など直接伺い、理解できました。 ・次年度までは現行どおりで、その先何がどう変わるか、まだ、びんと来ないところがありますが、これからは意識的に情報に耳を傾けていこうと思います。 <p>協会に入るメリットは、研修会だけと思っている人も多いように感じます。</p>



やまぐち ナースセンターだより

No.98

平成23年度事業のお知らせ

1 看護職員確保

(1) ナースセンター事業

①無料職業紹介【お仕事探しの応援】

- 相談日 火・水・金曜日 9:00～16:00
 場所 山口県看護協会新館1階【相談室】
 電話 0835-24-5791
 Mail yamaguchi@nurse-center.ne.jp

②再チャレンジ研修【再就職のための研修】

9月開催 5日・10日・15日コースから選択
 講義:3～5日 実習:2日・5日・10日

③再就業コーディネーターによる個別就職支援

- ハローワーク徳山・宇部で看護職の就職相談
- 毎月第3水曜日 10時～16時
- 再チャレンジ研修の施設調整・就職支援

(3) 訪問看護師育成支援事業

①初任者研修【訪問看護研修ステップ1】

8月～12月の間30日(180時間)開催予定
 講義:金・土曜日25日、8月8・9日
 実習:3日(月～金曜日、週1～2日)



H22
訪問看護研修
ステップ1

②中堅職員・管理者育成研修

土曜日5日間の予定
 ※②は訪問看護ステーションに従事する看護職はどなたでも無料で参加出来ます。

(2) 合同就職説明会

7月3日(日)ホテルニュータナカ(山口市湯田温泉)
 未就業看護職及び看護学生と病院の面談
 相談コーナー

(4) セカンドキャリア研修・交流会

日時 11月24日(木)13:30～15:30
 対象 定年退職者・退職予定者及びおおむね
 55歳以上の看護職
 内容 情報交換
 講演:女将劇場に学ぶホスピタリティ

2 資質向上

(1) 訪問看護推進事業

- 訪問看護推進協議会の開催
- 訪問看護ステーション・医療機関に勤務する看護師の相互研修
 5日間開催予定
 講義:土曜日3日 実習:月～金曜日2日



H22
相互研修



★研修会のお申込みや
お仕事に関するお問合せはこちらまで

山口県ナースセンター

Tel 0835-24-5791
 Fax 0835-24-1230
 e-mail yamaguchi@nurse-center.net

山口県看護協会ホームページ
<http://www.y-kango.or.jp>

◆ 平成22年度再チャレンジ研修アンケート結果 ◆

受講者数 14人

回答者数 14人

回収率 100%

① 職能

保健師	助産師	看護師	准看護師	無回答
0	0	6	6	2
0%	0%	43%	43%	14%

② 年代

20代	30代	40代	50代	60代
0	6	6	1	1
0%	43%	43%	7%	7%

③ コース別(5日・10日・15日)はどうでしたか。

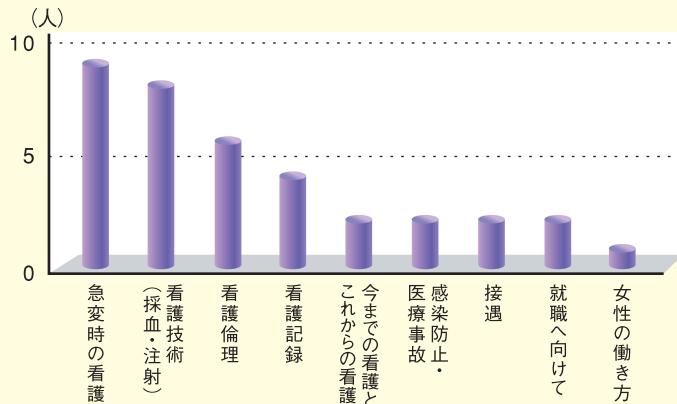
良い	どちらでもない	悪い
9	5	0
64%	36%	0%

④ 就職の意思が強くなりましたか。

はい	どちらでもない	いいえ
8	6	0
57%	43%	0%

【就職の意思が強くなった理由】

- ・仕事をしていた頃を思い出し、「看護」の仕事がしたいと思ったため。
- ・「急変時の看護技術」、「看護技術(注射・採血)」、「看護のみえる記録とIT化の現状」の講義演習で少し自信がついたような感じがする。
- ・現場の今のあり方、実技など不安もあるが、気持ちも強くなつた。
- ・自分で昱昧だった点が、講義を受け実技をし、すぐに質問できる状況にあったので、不安の残らない研修になった。
- ・技術の講義演習を受けることで、現場で更に技術を習得スキルアップしたと感じたから。
- ・一人で考へては進まなかつたが、臨床に結びつく内容を聞き、「一歩を進めないと」という気持になつた。

⑤ 役に立った科目はどれですか。(複数回答)

チャンスです!!

再就職を目指している方
是非参加しましょう!!平成23年度も
再チャレンジ研修
を開催します。
(9月予定)

多様な勤務形態 シリーズ6

JA山口厚生連周東総合病院 保健師 戸高奈津美

看護師で働いていた時のやりがいが忘れられず、夫の転勤で移住した山口県でも、再び仕事と家事・育児の両立にチャレンジしてみたい!と思っていました。ただ、子どもと向き合える時間や気持ち的な余裕を持ちたいとの思いから、パートでの勤務形態を選択しました。現在は健康管理センターで保健師として週4日、8時30分から16時までの勤務をしています。

特定保健指導や健康相談・事後指導などを通じて、地域住民に「教える」のではなく「個々の生活の気

付き」から自立を支える事の奥深さや面白さを感じています。また、「保健師としての自分」、「母としての自分」の切り替えができることで、子どもと関わる時間をより大切にできているとも感じられます。

家族や同僚のご協力の下、多くの経験ができるこことを嬉しく思うと共に、今後も研修等へ積極的に参加し専門職としてのスキルアップを図り、地域に貢献していきたいと考えています。

平成22年度山口県新規委託事業

訪問看護師(中堅職員・管理者)育成研修を開催しました。

目的

- ①訪問看護師の役割を認識し知識や技術を習得する。
- ②管理能力の均衡・向上を行うことで県全体のレベルアップを図る。
- ③運営管理・初任者等に対する指導力を高め、勤務環境の整備を図り、離職防止・確保定着を促進する。

内容・参加者

- | | | |
|----------------|-----------------------------|--------------------|
| ・土曜日 5日間 | ・参加者延数 296人 | ・参加訪問看護ステーション 62施設 |
| ①経営・管理・人材育成 | ②情報交換 34人 | ③フィジカルアセスメント 54人 |
| ④魅力の再発見 75人 | ⑤訪問看護師のためのメンタルコミュニケーション 63人 | |
| ⑥命を見つめる…家族を支える | ⑦医療保険による訪問マッサージ 70人 | |

アンケートより

- ・価値観や看護感を見直すことができた。誇りと熱意、やりがいをもって訪問看護をしていきたい。
- ・内容が大変充実しており、多くの学びを今後の訪問看護活動に活かしていきたい。
- ・参加しやすかったので今後も続けてほしい。
- 他多数



平成23年度も開催予定です。皆様の参加をお待ちしています。 ナースセンター事業係

山口県警察本部 生活安全企画課

防犯情報

災害に便乗した詐欺等に注意～電話や訪問での義援金募集は要注意～

東北地方太平洋沖地震に便乗して、被災者支援のための募金等と称してお金を騙し取ろうとする詐欺容疑事案が全国各地で発生しています。

募金を求める電話等があった場合には、すぐに振り込んだりすることなく、相手方をよく確認し、詐欺被害等に遭わないように注意してください。

詐欺手口等の概要

☆不審電話

- 実在する団体名を騙って義援金募集のFAXを送信し、当該団体が設けた
募金振込口座とは異なる個人名義の口座に振り込ませようとしたもの。
- 公的機関と思わせる紛らわしい名前を騙って電話をかけ「避難地確保のため寄付してください」と言って指定する口座に振り込ませようとしたもの。

☆訪問

- 市役所職員を装って一般家庭を訪問し、募金を求めたもの。
- マンション管理会社を装って一般家庭を訪問し、「地震に耐えられるようにブレーカー工事が必要です」等と言って現金の支払いを求めたもの。

○相手をよく確認する

公的機関等が、一般家庭に対して個別に義援金等を求めるることは通常ありません。

義援金等の振り込みの際は電話帳に記載された機関や団体の電話番号にかけ直し、相手をよく確認してください。

公的機関以外の団体等から個別の働き掛けがあった場合には、同団体が信頼できるものであるか、十分確認してください。

○すぐに振り込んだりしない

電話や訪問等で個別に義援金等を要求された場合は、すぐに振り込んだりしないでください。

また、不審な電話等は、警察に通報してください。

注意事項

善意を悪用されないように、十分注意してください。

**みんなでつくろう安心やまぐち
～子ども・女性・高齢者を守ろう～**

社会経済福祉委員会報告

第1回 職場・業務改善発表・交流会

～ちょっとした工夫で楽しく働き続けるために～

平成23年1月22日(土)に社会経済福祉委員会では、**ワークライフバランスの推進**のために、職場・業務改善発表・交流会を開催しました。

発表施設8施設から職場・業務改善取り組みを発表し、その後、**参加者54名**で意見交換を行いました。



発表後、参加者全員で優秀施設を決める投票を行いました。

優秀施設は**フィッシュで明るい職場作り**を発表された**周東総合病院**でした。

発表・交流会終了後に行った**参加者アンケート**では

「発表内容が自施設で活かせる内容だった」
 「今後もこの発表会を継続してもらいたい」
 などの意見が95%以上でした。

発表者からも

「業務改善発表の場が今までにはなかったのでよい機会だった」
 「もっと発表時間を長くして欲しかった」などの意見があり、今後の職場・業務改善発表・交流会の開催に役立てたいと思います。



文責 社会経済福祉委員会

担当 ナースセンター事業係

医療安全情報《No.11》(医療安全推進特別委員会から)

輸液ポンプを安全に使うためのチェックポイント

輸液ポンプは、輸液セットのチューブをしごいて、患者さんに薬を注入する器械です。容量の大きな輸液バッグ（最大2～3リットル）にも使用でき、長時間の連続的な注入に適しています。また、麻薬・鎮静剤・循環器薬剤などを微量注入する際や、一定

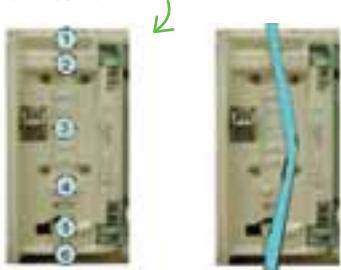
量の注入量を保つ必要がある際にも用いられます。しかし、薬液を強制的に体内に注入するものであり、使用方法を誤ると医療事故に繋がる危険性も大です。チェックポイントを見て、安全な使用方法、注意点を再確認して使用しましょう。

チェックポイント 1

ポンプ内部は、輸液セットがたるまないようにセットします。ねじれていると流量異常の原因になります。

チューブセットの仕方

上から順番にはめていく。
軽く引っ張る。



チェックポイント 2

クレンメは輸液ポンプの下になるようにセットします。上にあると、クレンメを開け忘れた際閉塞アラームが鳴らないことがあります。

輸液セットクレンメの位置



クレンメはポンプより
<下流>にセットする

- ・閉塞発生時の処置が行いやすい
- ・上流では閉塞感知できない機種が多い
- ・気泡発生時の処置が行いやすい

チェックポイント 3

1つのディスプレイで「流量」と「予定量」をボタンで切り替えるタイプは逆に誤入力される危険性があります。



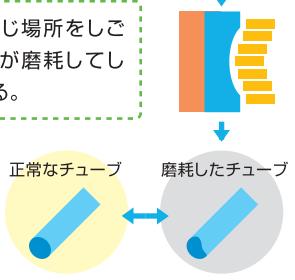
チェックポイント 4

長時間、チューブの同じ場所をしごいているとチューブが磨耗して流量誤差が生じます。24時間毎に10cm以上ずらしましょう。

輸液ラインの磨耗

長時間、チューブの同じ場所をしごいていると、チューブが磨耗してしまい、流量誤差が生じる。

24時間ごとに
10cm以上ずらす。



一番大切なことは器械に頼らず自分の目で確認することです！



①点滴筒内の滴下OK!



②流量・積算量と薬液
の減り具合OK!



③点滴ルート接続部、
穿刺部OK!

リレー随筆 vol.55

「指導の難しさ」

私は三人の子どもを母乳で育てましたが、長女の時は何も気にせず好きな物を食べ、夜になると飲ませる、泣く吐く、ウンチで汚れて着替えさせる、そしてまた飲ませるの繰り返しで大変苦労しました。その後母乳に良い食事について学び、次女三女の時は食事に気をつけることで随分楽に育児ができ楽しめることを実感しました。

昨年長女に女子、次女に男子が誕生しました。幸いなことに二人とも母乳がよく出ています。私の助産師としての知識と自分の経験から、二人にも食事の注意をしていますが、長女は「こ

国立病院機構関門医療センター
林 純子



んなに制限したらストレスが溜まる、ストレスが溜まる方がいい。この位食べてもいい。」と好き放題食べています。

日頃、褥婦さんにも母乳にとって良い食事を指導している私ですが、指導とはいかに難しいか自分の子どもから学ばされています。自分が良いと思っても、相手が納得し実行しなければ意味のない指導となってしまいます。また一生懸命になりすぎて強要してもいけません。相手の状況、反応を見ながら、ストレスにならないよう指導する技術を今後も磨いていきたいと思います。

次回の執筆は 下関市立豊田保健福祉センター 永富 しのぶさんにお願いしています。

表紙の写真に寄せて

「阿知須ひなもんまつり」

表紙の写真は、桃の節句を前に、布製の人形やまりなどをつり下げるひな祭り「ひなもん」が町を彩る「阿知須ひなもんまつり」です。福岡の柳川市のつるしひな「さげもん」を参考に地元の女性達が手作りした作品が商店街各店舗に彩りよく飾られています。早春の風物語として根付き、愛らしいひなもんを眺めながら町を歩き楽しむ人が増えています。

ペット自慢

私は、ジャンボインコの「しーちゃん」です。ペットショップで3年間売れ残り、「里親募集」の札が付きました。

「気性が激しくて売れません」の店員さんの一声で、ママは引き取ることを決意してくれました。鳥アレルギーの文江ママは毎日悪戦苦闘しています。

津田 文江



ペット自慢・ 看護川柳募集!!

掲載された方には図書券プレゼント!!
メールか封書で送って下さい。
Eメール:yamakan1@chive.ocn.ne.jp

山口県看護協会会員数 合計8,971名（加入率：41.7%）2011年4月15日現在

保健師
449人

助産師
292人

看護師
7,409人

准看護師
821人

きれいな呼吸をするふとん

フォリア

フォリアはダニアレルゲンや
細菌は通さず、汗はぐんぐん
放出するゴア[®]ふとんです。
清潔・きれい・衛生的な心地
良い眠りをご提案いたします。



TUK 東洋羽毛中四国販売株式会社

www.toyoumo.co.jp

山口営業所 ☎ 0120-383843

〒753-0215 山口県山口市大内矢田123-1

医書のことなら
全てお任せ下さい。

- 常時10,000点の在庫。
- 便利な試覧制度と即日納品も可能なスピード宅配便。
- インターネットによる医学書の最新情報の提供と注文が可能。

《日本医書出版協会認定》
《医学・看護学専門書店》

井上書店

宇部店 〒755-8566 宇部市南小串2丁目3-1
TEL(0836)34-3424 FAX34-3090
e-mail:ube@mm-inoue.co.jp

小倉店 〒802-0077 北九州市小倉北区馬借2丁目1-20
TEL(093)533-5005 FAX533-9789
e-mail:kokura@mm-inoue.co.jp

[ホームページアドレス]<http://www.mm-inoue.co.jp>

Hazama
人と夢の間に。

株式会社 間組（ハザマ）
<http://www.hazama.co.jp/>

本社：〒105-8479 東京都港区虎ノ門2-2-5
支店：広島・山口営業所：山口市小郡御幸町1-14

歯並び、かみ合わせ専門の歯科医院

無料矯正相談を行っております

みやわき矯正歯科クリニック

E-mail myuchi@c-able.ne.jp

URL http://www.miya-ortho.com

宇部オフィス

〒750-0046 宇部市山内町2001-11-14号
TEL 080-330-1000 (受付)~003
TEL 080-330-1004 (院長)
TEL 080-330-1002 (院長)
TEL 0120-814843



新山口オフィス

〒750-0046 新山口町2001-11-14号
TEL 080-330-1000 (受付)~003
TEL 080-330-1004 (院長)
TEL 080-330-1002 (院長)
TEL 0120-924088



お気軽にお問い合わせ下さい
医療法人石井歯科医院
TEL 080-330-1000 (受付)~003
TEL 080-330-1004 (院長)
TEL 080-330-1002 (院長)



周南リハビリテーション病院

医療法人社団生和会

院長 廣田 晴郎

- 回復期リハビリテーション病棟 44床
- 医療保険適用病床 196床
- 介護保険適用病床 90床
- 訪問リハビリテーション

ホームページアドレス <http://www.sr-h.jp>

- ◎院内託児所完備
- 毎週月曜・木曜は夜間預り実施
- ◎看護師寮
- 看護学生含む8名が利用中
- ◎短時間正職員制度
- 昨年11月より看護師1名が利用

夜勤時も働きやすく
23年4月より、5つの医療療養
病棟で看護師2名十介護士1名の
夜勤体制がスタートしています

〒745-1132 周南市大字潮野4278番地1
TEL : 0834-83-3300 E-mail : jinji@sr-h.jp

看護師・准看護師募集

看護師を目指す看護師 大歓迎

日本医療機能評価機構認定病院
国土交通省指定短期入院協力病院

EPA認定による外国人受け入れ

医療法人茜会

昭和病院



山口労働局認定

病院見学会実施中！

☆ご都合の日にちに合わせます。(日・祝日は除く)

☆昼食も用意しております。

☆見学2日前までに、下記へご連絡ください。

℡ 083-231-3888 看護部/シタノ

ナースに優しい勤務体制

- ・2交替制・夜勤専属・看護師寮
- ・院内保育所・病児保育所
- ・24時間託児所

〒750-0059 下関市汐入町35番1号

TEL 083-231-3888 人事課/ハマダ

E-mail jinji@akanekai-showa.com

URL <http://www.akanekai-showa.com>

山口県看護協会さまますますのご発展をお祈り申し上げます

『あなたの家庭が見違えるように変わります！』

▼ お庭の剪定・マツ枯れ予防・雑草防止・庭木の引っ越し ▼

▼ 畢った木の樹勢回復・ガーデニング・お庭のリフォーム ▼

昭和47年よりお庭の業務一筋で、年間300件以上の実績があります。
樹木医と1級造園技能士の専門スタッフがご要望をお受けします。

お問い合わせはコチラまで

℡ 0120-564-128 (通話無料)

おかけさまで、地元で愛され30年。

有限会社 石本造園 山口県知事許可第10088号

〒747-1233 山口県防府市白道 356-17 (大道小学校北側)

★パソコンからインターネットで「石本造園」と検索なさってください



医療法人

仁保病院

認知症治療病棟・精神療養病棟

重度認知症患者テイ・ケア 「たんぽぽ園」

ものわすれ悩み相談・介護ストレス相談・老年期健康相談
(外来は予約制)

院長 貞國 太志

TEL 083-941-5555

山口市仁保下郷1915-1

TEL 083-941-5555 e-mail info@nihon-ho.jp

FAX 083-941-5577 URL <http://www.nihon-ho.jp>

(社)山口県看護協会会員の皆様へ

アフラックの「がん保険」「医療保険」のご案内です。



「がん保険」も「医療保険」もアフラックは選ばれて

*平成22年度「インシュアランス生命保険契約数」

契約件数
NO.1

＼新登場／

医療の進歩に対応した
アフラックの一番新しいがん保険

生きるための がん保険 Days

生きるためのがん保険Days(デイズ) スタンダードプラン
入院給付金日額10,000円 保険料月額(就労がん保険特約)11,100円

初めて診断確定されたとき	がんの場合	上皮内新生の場合は 100万円	10万円
入院したとき		1日につき 10,000円	
通院したとき		1日につき 10,000円	
手術したとき		1日につき 20万円	
放射線治療を受けたとき		1日につき 20万円	
抗がん剤治療を受けたとき	抗がん剤治療を受けた月ごとに 1ヶ月	10万円	5万円
	(抗がん剤治療月額) (上皮内新生の場合は月額とになります)	(抗がん剤治療月額) 1ヶ月	5万円
	すべての保険期間を通じ満額600万円まで		

高額な自己負担が必要な場合もある先進医療のための保険
+ がん先進医療特約

保険期間:10年(自動更新)
(上皮内新生の場合は月額とになります)

契約時月払保険料(無保険期)スタンダードプラン 入院給付金日額10,000円 定額タイプ 保険料払込期間:就労(就労がん保険特約)は10年) 年齢別料率/10歳~満80歳							
年齢別料率	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳	80歳
男性	2,170円	3,004円	4,444円	7,244円	11,964円	18,934円	27,256円
女性	2,202円	3,086円	4,482円	6,046円	7,852円	10,382円	13,976円

+ がん先進医療特約 保険料払込期間:10年 男女共通 先年割 一律77円

★三大治療とは、手術・放射線治療・抗がん剤治療のことといいます。

★自動更新については、パンフレット(契約概要)をご覧ください。

★アフラックの「がん保険」「医療保険」に付加する先進医療の特約は被保険者お1人につき適用して1枚のみご契約いただけます。

※契約のみのご契約はできません。

ご案内商品が変になった方は下記へアクセス!

保険料の手続きもできます。

<http://webby.aflac.co.jp/yamaguchi-kango/>

資料請求は携帯からも簡単アクセス!

病気・ケガを一生涯サポート!
一生安心の医療保険

もっと頼れる医療保険 新 EVER

新EVER・スタンダードプラン(適用保険あり)

入院給付金日額10,000円(保険料別途)

病気・ケガで入院したとき	1回につき(1回以内) (1回の入院につき最初の3日間まで) 5,000円
手術	入院料(最大手術を除く) 1回につき 5万円
病気・ケガで手術を受けたとき	入院なし(最大手術を除く) 1回につき 2.5万円
最大手術	麻酔・術時・実施手術など 1回につき 20万円
放射線治療・先進医療を受けたとき	1回につき 5万円
病気・ケガの入院後に通院したとき	1回につき 3,000円 (1回の通院料(最初の3日間まで)) (最初の2回まで)

月払保険料(初期料額)スタンダードプラン 入院給付金日額5,000円 定額タイプ

保険料払込期間:就労(被保険者年齢:10歳~満80歳)

年齢別料率	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳	80歳
男性	1,669円	2,015円	2,656円	3,728円	5,484円	8,309円	12,235円
女性	1,793円	2,080円	2,393円	3,132円	4,429円	6,565円	9,692円

結婚上の理由で保険の加入をあきらめていた方には

新 やさしい EVER

ご契約は
満30歳~満80歳迄
お申込みいただけます。

引受基準の緩和により簡単な告知でお申込みいただけます。

●この保険は、健常状態に不安などを抱えている方を対象に、各保険料を標準化し、引受基準を緩和しています。このため、保険料は通常のアフラックの医療保険に比べて割高となっています。また、種々な状況やご事情などにより、ご契約をお引受けできない場合があります。ご活用の状況は不要です。

- 記載している保険料および保険内容等は2011年3月22日現在のものです。
- 「パンフレット(契約概要)」「注意事項情報」「ご契約のしわい・詰め(または「ご契約のしわい・詰め等)」は、保険内容やご契約に際しての大変な事項を記載しています。「賠付金などが支払われない場合」や「新たに契約への要請に関する事項」など、お客様にとって、不利となることも記載されていますので、必ずご確認ください。

お問い合わせ下さい (幕張代理店)

株式会社トータル保険サービス 福岡支社

〒810-0001 福岡市中央区天神1-13-6 西鉄天神ビル6階

フリーダイヤル ☎ 0120-733-371 担当:吉澤・林田

(厚生保険会社) アフラック 福岡総合支社

〒812-0018 福岡市博多区住吉1-3-25 キャナルシティビル10F

当社保険に関するお問い合わせ窓口・各種のお手続きコールセンター ☎ 0120-5555-95

AF090-2011-0029 3月18日